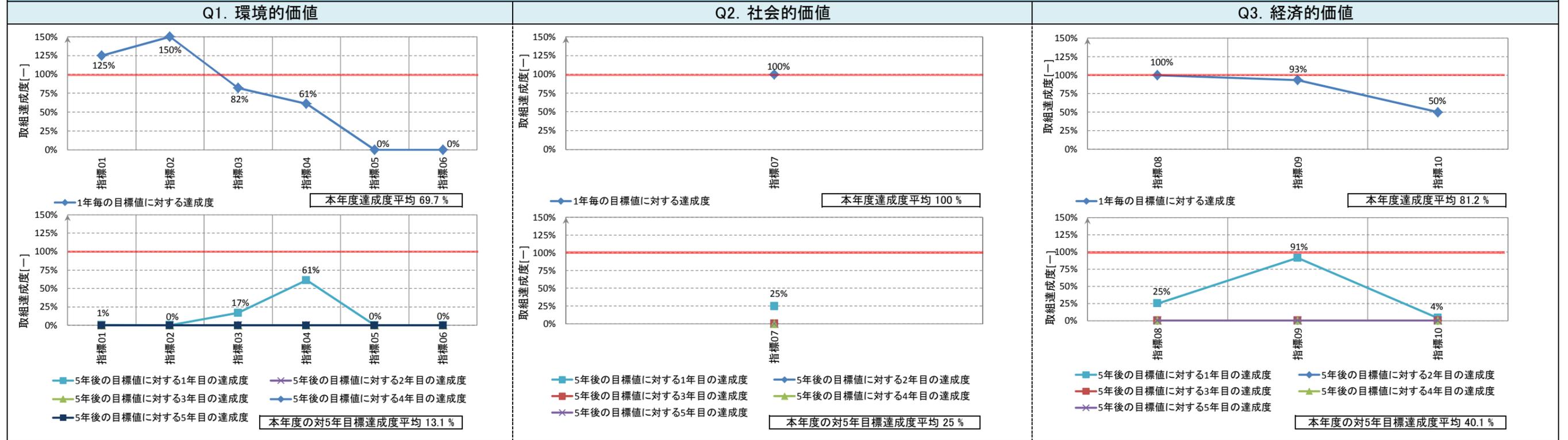


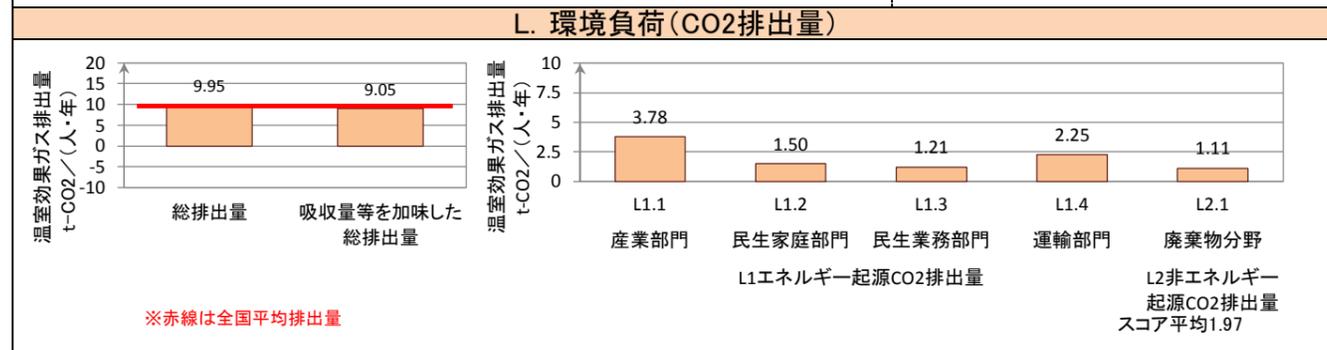
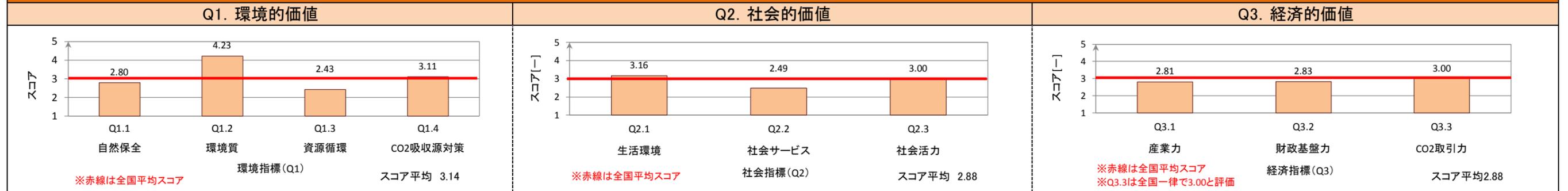
# 評価結果総括表 (2013年暫定版)

<b>福島県 南相馬市</b>	人口: 66,385人 世帯数: 22,870世帯(平成24年3月末現在) 就業人口: 33,279人(平成22年10月1日現在) 市内GDP: 2,691億円(平成21年) 面積: 398.50km <sup>2</sup> (うち森林面積219.47km <sup>2</sup> )	<b>平成24年度の 取組の都市総括</b>	【取組1】再生可能エネルギー基地(太陽光発電事業及び風力発電事業)の事業用地の確保に向け、県・関係機関と協議を進めているが、復旧事業との調整が前提のため、事業用地の確保が遅れている。 【取組2】家庭用太陽光発電設備の補助金申請枠を当初100件から200件に拡大し、導入促進に努めた。 【取組3】EV導入について、復興交付金対象外となったことから、事業内容を見直しを行った。 【取組4】公共施設の再生可能エネルギー導入促進について、導入計画の策定を行うとともに、実施設計(4件)を実施した。 【取組5】ワークショップにおいて、モデル地区の区画位置の調整を行った。 【取組6】植物工場(2棟)を建設し、民間の太陽光発電施設及び体験交流施設と連携した事業構築を行った。
---------------------	--	----------------------------	--

## フロー評価結果(取組進捗評価(自主評価))



## ストック評価結果(CASBEE都市評価(統計データ)) ※統計データは2010年のもの。都市の現状値を評価



### 推進ボードからのコメント

全体的に、現在の環境ではよく進んでいるが、総括的には責任者(分科会は責任者になれない)不在は後で大きな問題に繋がる可能性を持つ。素早く責任者を決定し、自己評価のための指標などを提案していただく必要がある。

### 推進委員会からのコメント

- コハウジングについて、単なる住宅に留まらず、商業・医療・介護等を組み合わせたより良い街区を築いて欲しい。
- 再エネ事業の確実性を担保するSPCのより具体的な構成が強く望まれる。(投資は数十億規模になる。)
- メガソーラーの設置にあたっては、地産地消という視点も重要ではあるが、事業採算性とのバランスを取りながら検討するべきである。

# 評価指標リスト

指標番号	価値分類	評価指標
指標01	環境	再生可能エネルギー導入比率(%)
指標02	環境	再生可能エネルギー発電量(kW)
指標03	環境	一般家庭での太陽光発電による再生可能エネルギー発電量(kW)
指標04	環境	太陽光発電設置に対する補助金申請件数(件)
指標05	環境	EV急速充電器設置(台)
指標06	環境	EV導入(台)
指標07	社会	共同施設の整備
指標08	経済	公共施設の再生可能エネルギー発電量(kW)
指標09	経済	認定農業者数(人)
指標10	経済	農業法人雇用者数(人)

## 環境未来都市 PDCAサイクルを回すための取組執行体制に係わる自己チェックリスト

作成日： 2013/5/31

作成者(部署/氏名)：

南相馬市 復興企画部 新エネルギー推進課 係長 戸浪 誠

承認者(部署/氏名)：

南相馬市 復興担当理事 渡部 克啓

確認事項	チェック項目	確認根拠	確認	是正処置
①環境未来都市計画及び目標の策定	環境未来都市計画の各取組に中長期(5年後)および単年度(1年後)の目標が設定されている。	環境未来都市計画書	✓	
	全ての目標値は定量的に評価できる。定量的に評価できない目標値は、その進捗を計測する代替手段がある。			未対応
	全ての取組においては責任者が定められており、明文化されている。			未対応
②実施体制の構築	構成員間の役割分担・責任分担が明文化された体制図が作成されている。	推進体制	✓	
	部局間、事業間の連携を図るために仕組みづくり(会議運営等、各都市で具体的な内容を明記)が検討されており、かつ実行されている。	推進体制	✓	
③都市間連携・ネットワークの有効活用	(都市名と具体的な連携内容)に関して連携をしている、もしくは今後連携を予定している。			未対応
	成功事例を他へ展開するために具体的な仕組みを構築している、もしくは今後構築を予定している。			未対応
④関係者の参画	全体計画の立案から、その実行、見直しの全てのフェーズにおいて関係者が参画している。			未対応
	環境未来都市計画において各取組に参画が必要な関係者が特定されており、明文化されている。			未対応
⑤関連文書の記録・作成	文書の作成者、承認者が決まっている。また文書・記録の管理を実施する責任者が決まっており、明文化されている。		✓	
	作成された文書・記録の保管場所・保管期間が決まっており、関係者に周知徹底されている。		✓	
	ウェブサイト等のICTを活用した情報開示を行っている。		✓	
⑥取組状況の定期的な確認並びに問題の是正および予防	計画の中で、定期的(具体的な回数、2回/年など)に「取組評価」の自主評価が明文化され、かつ実行している。			未対応
	定期的(具体的な回数、2回/年など)な自主評価の結果、目標の達成が難しいと判断された取組に対しては確実に是正処置を施すよう、その確認をする責任者が決められている。			未対応
	計画の中で、毎年PDCAサイクルを回すための取組執行体制に係わる自己チェックリストの自主評価が明文化され、かつ実行している。			未対応
⑦代表者による全体の評価と見直し	代表者による全体評価のプロセスが構築され、かつ実行している。			未対応
	代表者による全体評価において評価すべき項目が決められている			未対応
	前回の代表者による全体評価での指示事項は全て実行されている。			未対応
⑧その他	代表者による全体評価のプロセスが構築され、かつ実行している。			未対応

### 是正処置への対応の詳細

- ・「超高齢化対応」にかかる取組の評価指標、数値目標が未設定のため、25年度更新に合わせて設定する。
- ・関係者の参画については、25年度中に推進体制を構築する。
- ・取組状況の定期的な確認等については、市復興計画事業等の進行管理(月1回)または随時確認により行っているが、今後、推進体制の構築に合わせて、進行管理を行うこととする。

### 代表者による確認

25年度中に各取組の実行や全体進行管理を行う協議会を設け、各取組間の調整を行うとともに、役割と責任を分担させることとする。

### 推進ボードによる確認

- ①について：責任者を即決め、評価制度を提案させる。
- ④に関して：これは中央省庁の役割で至急行うべきである。
- ⑤に関して：関係者参画に時間を使用過ぎないこと。きちんと開示(ウェブ)して参画を呼び掛けるべきだが、推進にフォーカスすべき。
- ⑥ 責任者を置いてはじめて可能。

### 推進委員会による確認

■ガバナンスのための推進委員会が今年度に入って発足するとのことであったが、他自治体と比較して若干遅い印象を受けるので積極的に取り組んで欲しい。

(参考)取組進捗状況一覧

環境未来都市計画での記載内容													1年目(2012年度)の達成状況					
都市名	取組番号	取組	指標番号	評価指標	価値分類	評価方法	基準値	1年目の目標値	2年目の目標値	3年目の目標値	4年目の目標値	5年目の目標値	1年目の目標値	1年目の実績値	単年度の達成度	5年目標に対する達成度	進捗状況説明	
福島県 南相馬市	取組01	再生可能エネルギー基地の整備・運用	指標01	再生可能エネルギー導入比率(%)	環境	定量	4.35	4.55				50.00	4.55	4.60	125%	1%	福島復興ソーラーで太陽光発電所(500kW)を設置	
			指標02	再生可能エネルギー発電量(kW)	環境	定量	19,272,000	19,377,120				232,696,500	19,377,120	19,797,600	500%	0.2%	福島復興ソーラーで太陽光発電所(500kW)を設置	
	取組02	家庭用太陽光発電設備の導入促進	指標03	一般家庭での太陽光発電による再生可能エネルギー発電量(kW)	環境	定量評価	962,700	1,803,660					5,045,760	1803660	1,653,086	82%	17%	補助金申請枠を当初100件から200件に拡大
			指標04	太陽光発電設置に対する補助金申請件数(件)	環境	定量評価	23	200					200	200	131	61%	61%	補助金申請枠を当初100件から200件に拡大
	取組03	EV導入の環境整備	指標05	EV急速充電器設置(台)	環境	定量評価	0	5					21	5	0	0%	0%	復興交付金対象外のため、事業内容をH25見直し
			指標06	EV導入(台)	環境	定量評価	0	5					21	5	0	0%	0%	復興交付金対象外のため、事業内容をH25見直し
	取組04	公共施設の再生可能エネルギー導入促進	指標08	公共施設の再生可能エネルギー発電量(kW)	経済	1年目:進捗 2~5:定量	5256	実施設計 (3件)					220,752	実施設計 (3件)	実施設計 (3件)	100%	25%	実施設計(3件)を実施
	取組05	誰もが暮らしやすい世代循環のまち (Co-housingの考えを取り入れた集落の形成)	指標07	共同施設の整備	社会	進捗率評価	-	モデル地区 選定	造成・ライフ ライン等整備	共同施設設 計	共同施設建 設工事		モデル地区 選定	モデル地区 選定	100%	25%	ワークショップにおいてモデル地区の区画位置を調整	
	取組06	一次産業の再生(EDEN計画)	指標09	認定農業者数(人)	経済	定量評価	0	352					360	352	329	93%	91%	植物工場(2棟)を建設し、太陽光発電施設、体験交流施設と連携して事業を展開
			指標10	農業法人雇用者数(人)	経済	定量評価	0	6					75	6	3	50%	4%	植物工場(2棟)を建設し、太陽光発電施設、体験交流施設と連携して事業を展開